

収穫作業前に褐斑病防除をしましょう！

JA今金 農業経営課
北海道糖業(株) 原料課

現在のてん菜生育状況は7/10時点の平年比(%)で草丈104、葉数112、根周108(渡島・松山地区平均、移植)となっております。

また現在の圃場は過湿状態となっており、病害の発生リスクが高くなっております。

これから小麦などの収穫作業で繁忙期を迎えますが、褐斑病防除は予防的防除と適正な防除間隔を守る事が重要です。必ず実施し高収量・高糖分のビートを目指しましょう。

●褐斑病・葉腐病

防除時期：7月25日～30日

(10a当り)

対象	薬剤名	薬量	使用回数
褐斑病 葉腐病	シルバキュアフロアブル2,000倍 +	50ml	2回
	マンゼブ500倍(注1)	200g	
	グットクル水和剤500倍	200ml	2回
	デビュー乳剤800倍 +	125ml	3回
	マンゼブ500倍(注1)	200g	
	どさんこスター水和剤	200ml	3回
ヨトウムシ アシゲロハモグリバエ シロオビノメイガ	カスケード乳剤4,000倍	25ml	4回
生育促進	スーパーハイケルプ600倍	170ml	—

注1) マンゼブ剤：グリーンダイセンM水和剤またはグリーンペンコゼブ水和剤

注2) 防除に当たっては「てん菜栽培ガイド」P13～16もご確認ください。

注3) 農薬の使用にあたって農薬取締法を遵守してください。また散布前には必ずスプレーヤー等を洗浄してください。

●ヨトウムシ

シロオビノメイガ対策のIGR剤は脱皮阻害剤であり、老齢虫に対しての即効性はありません。ヨトウムシの老齢虫が見られる圃場は、ベジホン乳剤(1,000倍)を加用して下さい。

●根腐病

既に2回防除されている方でも、根腐症状が見られる方はリバ-顆粒水和剤・モックトフロアブル・モンパル顆粒水和剤のいずれかを散布して下さい。

～次回～

8月10日～15日に

褐斑病：グリーンダイセン or グリーンペンコゼブ (500倍)

ヨトウムシ・カメノコハムシ・シロオビノメイガ：IGR剤(マッチ乳剤)の予定です。